



【♡ 振り返り】
手洗いの水を出しっぱなしにする姿をただ禁止するのではなく、「水という現象そのものが魅力的だからだ」と捉え直して活動に繋げました。トイを流れる水の動き、おもちゃの穴から落ちる変化、光に透かす美しさを室内でじっくり味わった子どもたち。その探究心は外の世界の「水たまり」へと自然に広がり、全身の感覚をフルに使って遊ぶダイナミックな学びへと発展しました。



「もっと触りたい!」「どこへ行くんだろう?」



水



お水の通り道を作ってみよう!



【記録】
穴から水が落ちるよ! おもちゃで実験
水遊びの玩具を出すと、さらに実験が始まりました。穴から空いたカップやおもちゃに水を注ぎ、「あ! 穴からお水が落ちるよ!」「シャワーみたい!」と、下からポタポタ、ザーザーと形を変えて落ちていく水の動きを、上からのぞき込んだり下から手を当てたりして夢中で試していました。

【記録】お部屋の光に透かしてみると...
ぶにぶにの「水風船」を入れて触って遊びました。すると、ある子が水風船を、お部屋の窓からのぞく光にかざし始めました。「きらきらしてる!」と大発見。光に当たってきらきら、ゆらゆら揺れる水風船の影や色を、うっとりとした表情で見つめていました。

【記録】
みつけた! お外の水たまりでばちばちや!
お水への興味はお外へも広がります。園庭やお散歩先で「水たまり」を見つけると、子どもたちの目は釘付けに! そとと中に入り、足や手で「ばちばちや!」とダイナミックに水を跳ね上げます。お部屋での繊細な実験から一転、今度は全身でお水の感触や音を浴びて、最高の笑顔が弾けていました。

手洗いの時、キラキラ光りながら流れていくお水。「もっと触りたい!」「どこへ行くんだろう?」という子どもたちのワクワクから、みんなで思いきり水が流れる面白さを味わう活動が始まりました!

【環境設定】
テラスに、雨樋やじょうご、給油ポンプ、ペットボトル、泡だて器、カップ、お玉、木の実、葉、玩具を用意しました。
傾けた雨樋で「水すべり台」を作りました。上からカップでお水を流すと、シャーッと勢いよく下へ流れていきます。



探究💡



【記録】発見💡
雨樋のすべり台に、水と一緒に松ぼっくりを置いてみた子どもたち。水に乗って「くるくる」と転がり落ちていく松ぼっくりを見て、「いくよー!」「きたきたー!」「大はしやぎ。雨樋のゴール(下)では、別の子どもたちがバケツや両手を構えて、今か今かと待ち構えています。

【記録】発見💡
最初は勢いよく入れてしまい、じょうごから水があふれて大慌て! そこで次は、カップを少しずつ傾けて、じょうごの中の水が減っていくスピードに合わせる「力加減」を自ら発見していました。「あ! 入った!」と満面の笑みで見せてくれたペットボトルは、水でいっぱいになっていました。

【記録】発見💡
水が流れる面白さに気づくと、今度は「これもお水と一緒に流れるかな?」と、近くにあったおもちゃのブロックや、拾った葉っぱ、松ぼっくりを雨樋の上に置き始めました。
小さなおもちゃや葉っぱを浮かべて、流れる様子をじっと追う真剣な目。雨樋の上にそとと緑の葉っぱを置き、大きなペットボトルを両手で抱え「流れるかなあ?」とワクワクした表情で葉っぱを見つめながら、ペットボトルを傾けていました。



流れるの
おもしろい!



【記録】流れるの、おもしろい!
雨樋ですべり台を作りました。上からお水を流すと、シャーッと下へ流れていきます。「わあ! 走った!」「まって〜!」と、流れる水を真剣な目で追いかける子どもたち。